



2021年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年12月25日

上場会社名 株式会社オークワ 上場取引所 東
 コード番号 8217 URL http://www.okuwa.net
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 神吉 康成
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員管理本部長 (氏名) 東川 浩三 (TEL) 073 (425) 2481
 兼IR室長
 四半期報告書提出予定日 2020年12月25日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第3四半期の連結業績(2020年2月21日～2020年11月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第3四半期	207,472	5.8	5,428	270.9	5,570	240.6	2,806	288.6
2020年2月期第3四半期	196,154	0.2	1,463	4.2	1,635	1.4	722	△36.4

(注) 包括利益 2021年2月期第3四半期 2,880百万円(316.8%) 2020年2月期第3四半期 691百万円(△16.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第3四半期	64.01	63.99
2020年2月期第3四半期	16.32	16.32

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年2月期第3四半期	138,706	76,844	55.2
2020年2月期	136,362	75,100	54.9

(参考) 自己資本 2021年2月期第3四半期 76,588百万円 2020年2月期 74,875百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	—	13.00	—	13.00	26.00
2021年2月期	—	13.00	—	—	—
2021年2月期(予想)	—	—	—	13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年2月期の連結業績予想(2020年2月21日～2021年2月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	278,000	4.7	6,300	82.7	6,450	71.7	3,100	116.9	70.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料6ページ「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年2月期3Q	45,237,297株	2020年2月期	45,237,297株
② 期末自己株式数	2021年2月期3Q	1,400,203株	2020年2月期	1,406,623株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年2月期3Q	43,835,206株	2020年2月期3Q	44,231,749株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(追加情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2020年2月21日～2020年11月20日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、社会・経済活動が大きく制限されるなか、企業収益や景況感の悪化、個人消費の減退やインバウンド需要の急減など、極めて厳しい環境で推移いたしました。政府による緊急事態宣言の解除後も、経済活動の回復に向けた動きは鈍く、先行き不透明な状況が継続しております。

小売業界におきましても、新型コロナウイルスの感染拡大による学校休校、在宅勤務、外食控え等からくる単ごもり消費拡大への対応、感染予防を目的とする新しい生活様式の浸透によるマスクや消毒液などの衛生関連用品の需要急増への対応や店舗における感染拡大防止策の実施等、求められるものはめざましく変化いたしました。

一方、労働需給の逼迫による人件費、物流費の上昇や業種業態を越えた顧客の獲得競争の激化に加え、企業統合、業界再編の動きがみられるなど、経営環境が大きく変化しております。

このような状況下において、当社は年度スローガンを『業務を精査し「やめる・減らす・見直す」働き方改革でお客様満足度・従業員満足度アップを実現しよう』とし、前期よりスタートした「新中期経営計画」において、新たな成長戦略に挑戦し持続的な成長を実現するため『持続的成長発展につながるオークワブランドを確立し、地域社会へ貢献し続けるリージョナルチェーンを目指す』を中期スローガンとして掲げ、3つのR(Reborn:生まれ変わる、Real:現場最優先、Refresh:リフレッシュ)をキーワードに、新たな価値とサービスの創造、オークワブランディング計画の実現に向け本格的に始動し、グループ全体の成長を目指しております。

当期の新規出店につきましては、愛知県下13店舗目となる「豊橋ミラまち店」(愛知県豊橋市)を2月に、静岡県下2店舗目となる「スーパーセンター掛川店」(静岡県掛川市)を9月にオープンし、東海エリアのドミナント強化を図りました。また、3月には「名張西原店」(三重県名張市)を移転新築オープンいたしました。

既存店につきましては、「プライスカット榛原福地店」(奈良県宇陀市)、「スーパーセンター富雄中町店」(奈良県奈良市)、「プライスカット天理北店」(奈良県天理市)、「スーパーセンター上富田店」(和歌山県西牟婁郡上富田町)、「メッサガーデンパーク和歌山店」(和歌山県和歌山市)の改装をそれぞれ行い、お客様のニーズを捉えた売場作りに注力いたしました。一方、経営効率化のために「海南下津店」(和歌山県海南市)、「ミレニアシティ岩出店」(和歌山県岩出市)を閉鎖いたしました。

連結子会社については、食品スーパーの㈱ヒラマツは、食料品、日用品の需要拡大により業績は改善いたしました。外食の㈱オークフーズは、新型コロナウイルスの感染症拡大による環境変化が影響し、減収減益となりました。

また、㈱リテールバックオフィスサポートは、当社グループ内を中心に店舗・施設の管理業務を継続して行い、㈱サンライズは、農産物等の加工・配送業務を担うことで、グループ全体の業務効率化に寄与しております。

以上により、当第3四半期連結累計期間における当社グループの経営成績につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う内食需要の高まりにより売上高が押し上げられた結果、営業収益(売上高及び営業収入)は2,074億72百万円(前年同期比5.8%増)、営業利益は54億28百万円(前年同期比270.9%増)、経常利益は55億70百万円(前年同期比240.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は28億6百万円(前年同期比288.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産合計は、前連結会計年度末に比べ23億43百万円増加し、1,387億6百万円となりました。流動資産では22億37百万円の増加であり、これは主に現金及び預金が10億4百万円、受取手形及び売掛金が5億81百万円増加したことによるものであります。固定資産では1億6百万円の増加であり、これは主に土地が3億30百万円、有形固定資産の「その他」に含まれる建設仮勘定が11億81百万円、投資その他の資産の「その他」に含まれる敷金が4億7百万円減少した一方、建物及び構築物(純額)が18億19百万円増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ5億99百万円増加し、618億61百万円となりました。流動負債では19億96百万円の増加であり、これは主に流動負債の1年内返済予定の長期借入金が9億7百万円、「その他」に含まれる設備関係電子記録債務が6億87百万円減少した一方、支払手形及び買掛金が14億32百万円、「その他」に含まれる未払費用が10億74百万円、未払金が9億69百万円増加したことによるものであります。固定負債では13億97百万円の減少であり、これは主に長期借入金が15億72百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ17億44百万円増加し、768億44百万円となりました。これは主に利益剰余金が16億66百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月期の業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績等を踏まえ検討した結果、2020年9月30日に公表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,361	17,365
受取手形及び売掛金	4,438	5,019
商品及び製品	9,781	10,160
その他	2,087	2,362
貸倒引当金	△8	△10
流動資産合計	32,659	34,897
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	46,075	47,895
土地	31,705	31,375
その他(純額)	8,645	7,710
有形固定資産合計	86,426	86,980
無形固定資産		
その他	3,891	3,930
無形固定資産合計	3,891	3,930
投資その他の資産		
その他	13,397	12,910
貸倒引当金	△12	△12
投資その他の資産合計	13,384	12,897
固定資産合計	103,702	103,809
資産合計	136,362	138,706
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,285	14,717
短期借入金	4,860	4,660
1年内返済予定の長期借入金	5,552	4,645
未払法人税等	949	1,113
ポイント引当金	1,452	1,687
その他	13,559	14,831
流動負債合計	39,659	41,655
固定負債		
長期借入金	12,977	11,405
退職給付に係る負債	76	82
資産除去債務	3,227	3,333
その他	5,321	5,384
固定負債合計	21,603	20,205
負債合計	61,262	61,861

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,117	14,117
資本剰余金	15,019	15,017
利益剰余金	47,626	49,292
自己株式	△1,681	△1,674
株主資本合計	75,080	76,753
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	61	66
退職給付に係る調整累計額	△267	△231
その他の包括利益累計額合計	△205	△165
新株予約権	49	51
非支配株主持分	175	205
純資産合計	75,100	76,844
負債純資産合計	136,362	138,706

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年2月21日 至2019年11月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年2月21日 至2020年11月20日)
売上高	188,537	199,568
売上原価	138,194	144,368
売上総利益	50,342	55,200
営業収入		
不動産賃貸収入	2,453	2,323
その他の営業収入	5,164	5,580
営業収入合計	7,617	7,904
営業総利益	57,960	63,104
販売費及び一般管理費	56,497	57,676
営業利益	1,463	5,428
営業外収益		
持分法による投資利益	34	11
リサイクル材売却収入	86	52
受取配当金	39	39
その他	91	129
営業外収益合計	251	233
営業外費用		
支払利息	66	60
その他	12	30
営業外費用合計	79	90
経常利益	1,635	5,570
特別利益		
固定資産売却益	7	5
賃貸借契約解約損戻入益	98	-
寄付金受入額	385	-
補助金収入	24	36
その他	0	-
特別利益合計	515	42
特別損失		
固定資産売却損	393	18
固定資産除却損	54	173
賃貸借契約解約損	31	450
減損損失	320	602
その他	2	1
特別損失合計	803	1,245
税金等調整前四半期純利益	1,348	4,367
法人税等	608	1,526
四半期純利益	739	2,840
非支配株主に帰属する四半期純利益	17	34
親会社株主に帰属する四半期純利益	722	2,806

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年2月21日 至 2019年11月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年2月21日 至 2020年11月20日)
四半期純利益	739	2,840
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△57	4
退職給付に係る調整額	9	35
その他の包括利益合計	△48	40
四半期包括利益	691	2,880
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	673	2,846
非支配株主に係る四半期包括利益	17	34

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

当社グループにおいては店舗における安全対策、従業員への衛生管理の徹底、営業時間の短縮やイートインコーナー・喫煙室の利用制限など新型コロナウイルス感染防止策を実施し、営業を継続いたしました。

また、外食など一部の事業においては、業績の低迷が見込まれるものの、内食需要の高まりにより小売事業においては業績の伸長が見込まれております。

新型コロナウイルス感染症が業績に与える影響は限定的であるとして、固定資産の減損や繰延税金資産の回収可能性に係る会計上の見積りを行っております。

(寄付金受入について)

前第3四半期連結累計期間の特別利益に計上しておりました寄付金受入額385百万円は、当社代表取締役会長(現 取締役会長)である大桑埴嗣への投資不動産(山林)の譲渡に伴う時価を超える部分の受入であります。